

2010年(平成22年)12月期 決算説明会

We are the leading company with innovation and grow up

日本ライオン株式会社

大阪証券取引所ジャスダック市場

(証券コード:2703)

2011年2月25日



目 次

- ◆ 2010年12月期決算概要
 および2011年12月期予想
- ◆ 中期経営計画の進捗状況報告

**2010年12月期 決算概要
および
2011年12月期 予想**

Growth with Value

2010年12月期(26期)連結決算の概要

(単位:百万円)

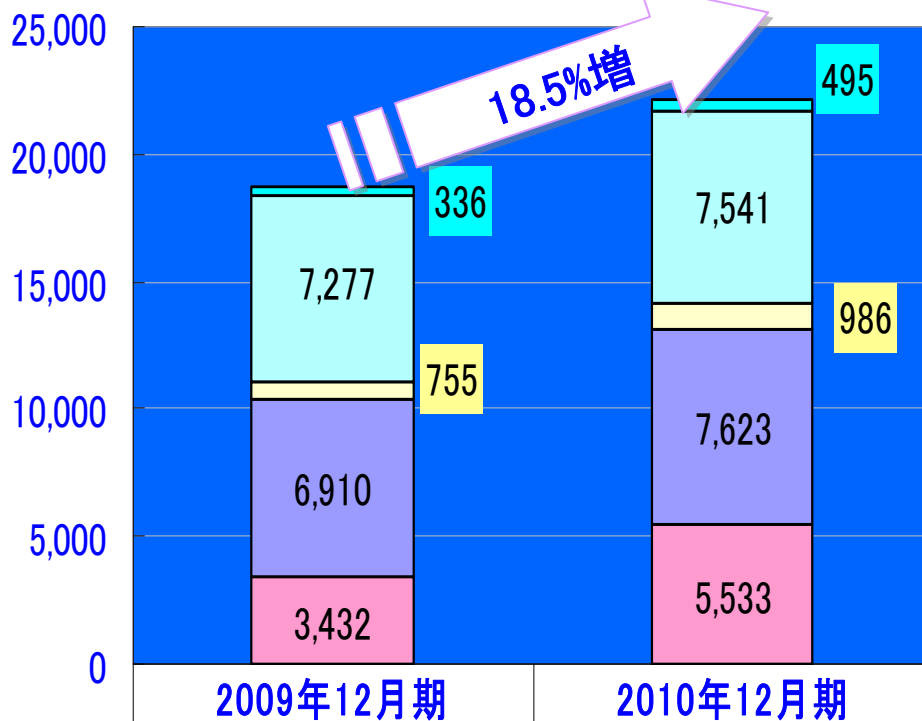
		2009		2010		増減
		実績	構成比	実績	構成比	
累計 (1-12月)	売上高	18,710		22,177		18.5%
	売上総利益	1,782	9.5%	2,224	10.0%	24.8%
	営業利益	81	0.4%	521	2.3%	539.3%
	当期純利益	129	0.7%	466	2.1%	260.3%
期末為替レート YEN-US\$		92.10		81.49		
		2009年12月末レート		2010年12月末レート		

- 売上高は、東アジアを中心に一般電子部品の販売が好調となり、前年同期比18.5%増の221億77百万円となりました。
- 営業利益は、0.5%の利益率の改善が寄与し、前年同期比約6.4倍の5億21百万円となり、大幅な改善となりました。

セグメント別連結売上高

■ 情報通信関連 ■ 一般電子部品関連 ■ 半導体関連 ■ EMS関連 ■ その他

(単位:百万円)



■ その他	336	495
■ EMS関連	7,277	7,541
■ 半導体関連	755	986
■ 一般電子部品関連	6,910	7,623
■ 情報通信関連	3,432	5,533

売上高の概況

- 【情報関連通信事業】**
 パソコン関連用部品の販売が堅調に推移し、前年同期比 61.2%の増
- 【一般電子部品事業】**
 東アジア地域を中心にLED関連の販売が増加し、前年同期比 10.3%の増
- 【半導体関連事業】**
 フィリピン工場においてのリードフレームの販売好調と、検査受託ビジネスが堅調に推移し、前年同期比 30.5%の増
- 【EMS関連事業】**
 香港地域での販売が堅調に推移し、前年同期比 3.6%の増

(参考)

《情報通信》: コンタクトラバー、スイッチ電源、マザーボード

《一般電子部品》: LED、コンタクト・イメージ・センサー、レンズ

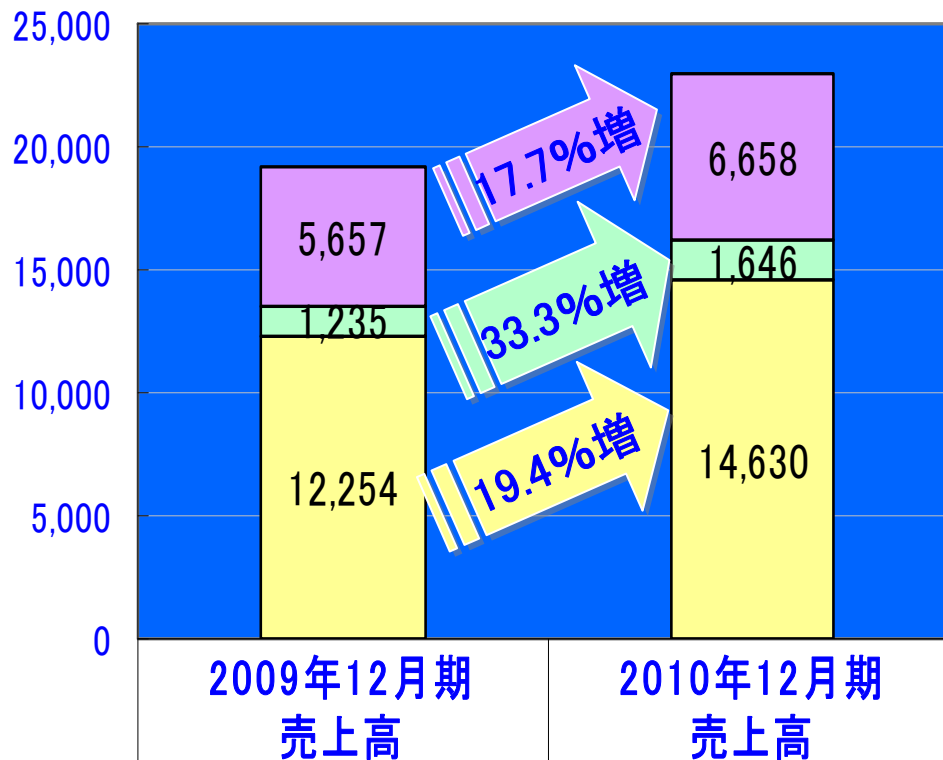
《半導体》: リードフレーム、半導体パッケージ用、基盤の検査及び後工程

EMS: プリンター、MFP

所在地別連結売上高

(単位:百万円)

■ 日本 ■ アセアン地域 ■ 中国・東アジア地域



■ 中国・東アジア地域	5,657	6,658
■ アセアン地域	1,235	1,646
■ 日本	12,254	14,630

所在地別 売上高

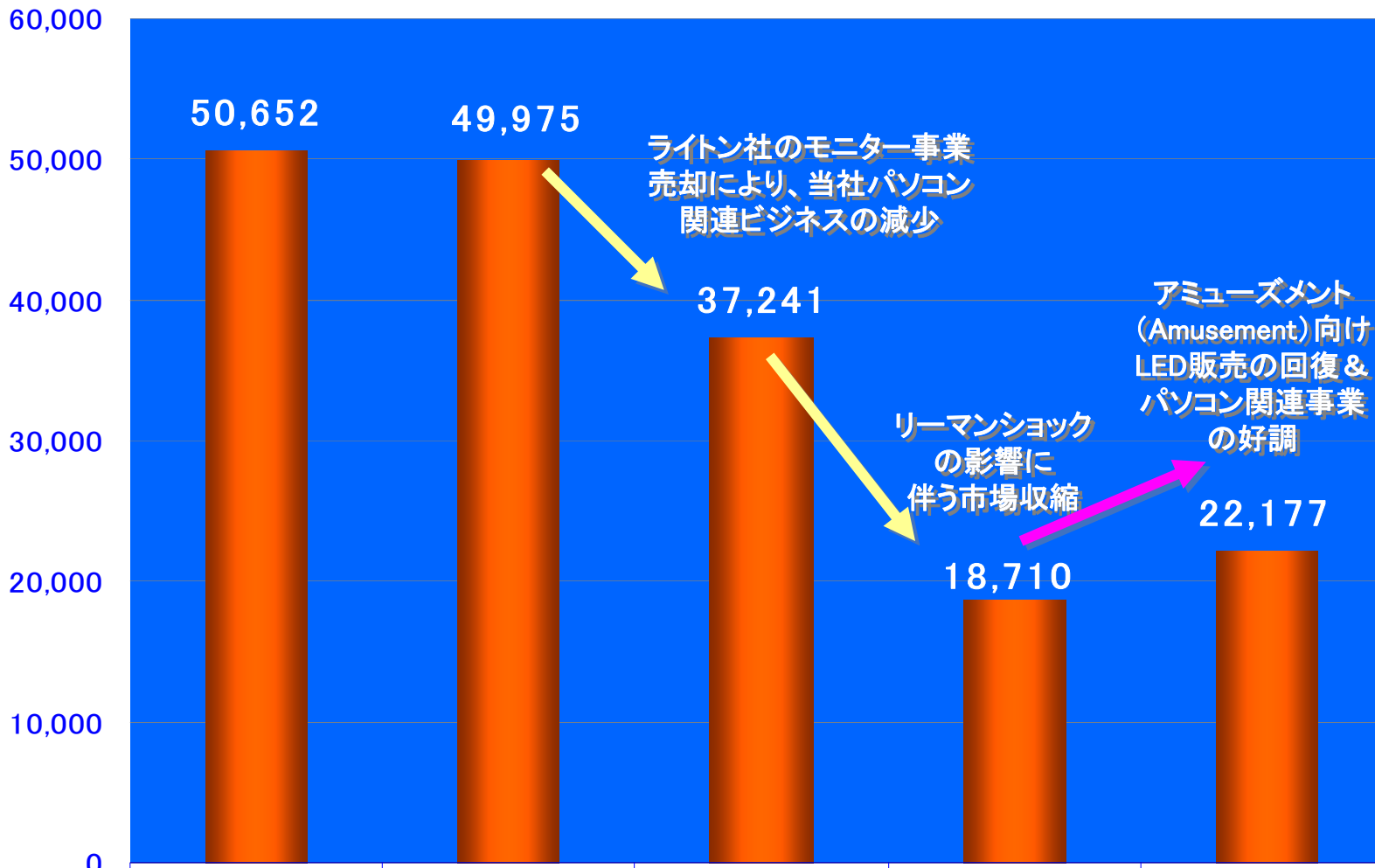
- ・【日本国内向】
情報通信関連において パソコンメーカーへのマザーボード販売が好調となったことにより、前年同期比+23億76百万円の19.4%増
- ・【アセアン向】
一般電子部品LED関連および半導体関連のリードフレームの販売が好調に推移したことにより、前年同期比+4億10百万円の33.3%増
- ・【中国・東アジア向】
EMS関連および一般電子部品LED関連の販売が好調に推移したことにより、前年同期比+10億円の17.7%増

(参考)
アセアン地域:
フィリピン、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム
中国・東アジア地域:
中国、香港、韓国

主要経営指標の推移(2006年～2010年)

売上高推移表

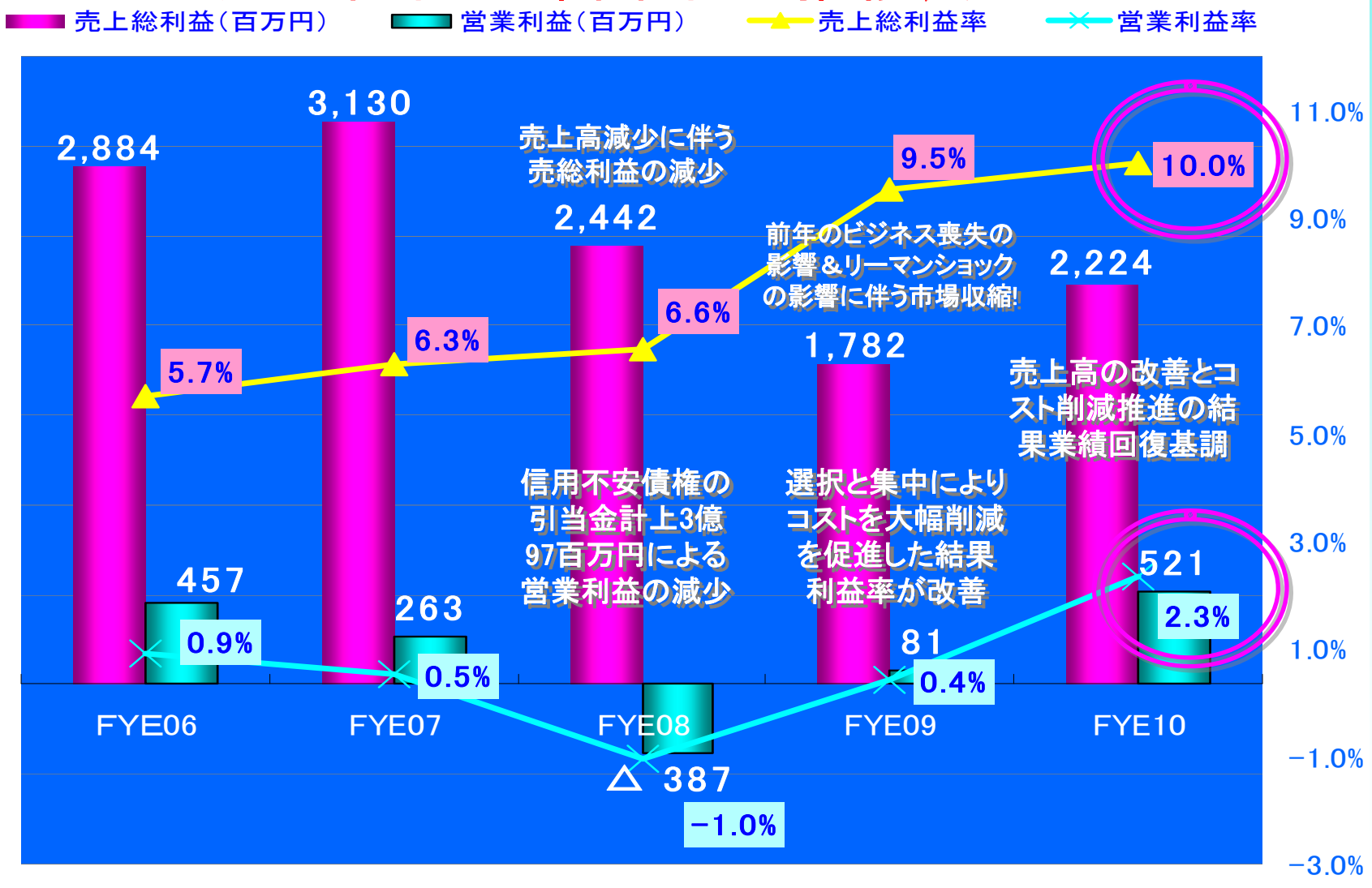
■ 売上高(百万円)



	FYE06	FYE07	FYE08	FYE09	FYE10
■ 売上高(百万円)	50,652	49,975	37,241	18,710	22,177

主要経営指標の推移 (2006年～2010年)

売上総利益・営業利益推移表

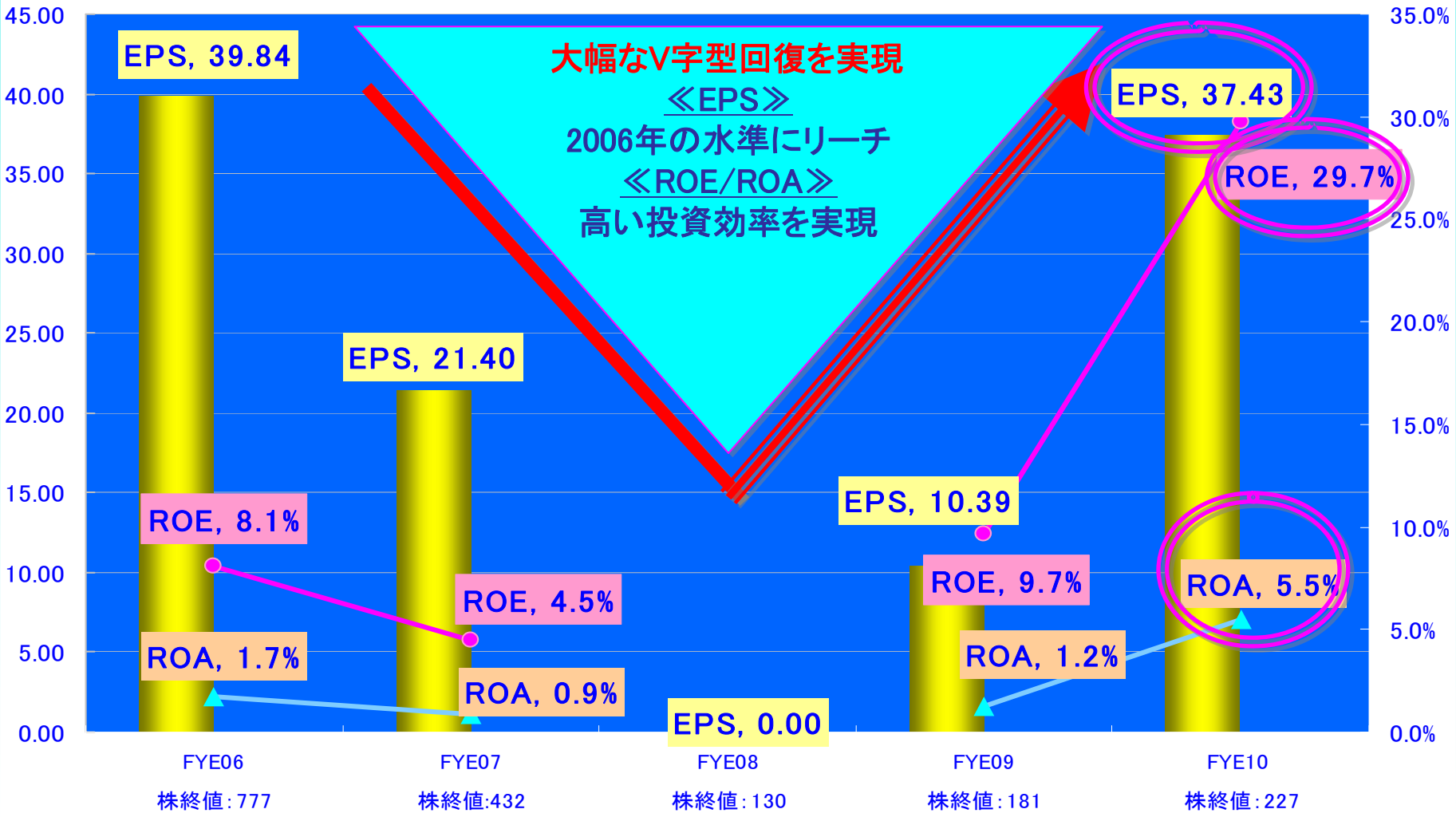


主要経営指標の推移 (2006年～2010年)

EPS・ROE・ROA

(EPS 単位: 円)

■ EPS ● ROE ▲ ROA

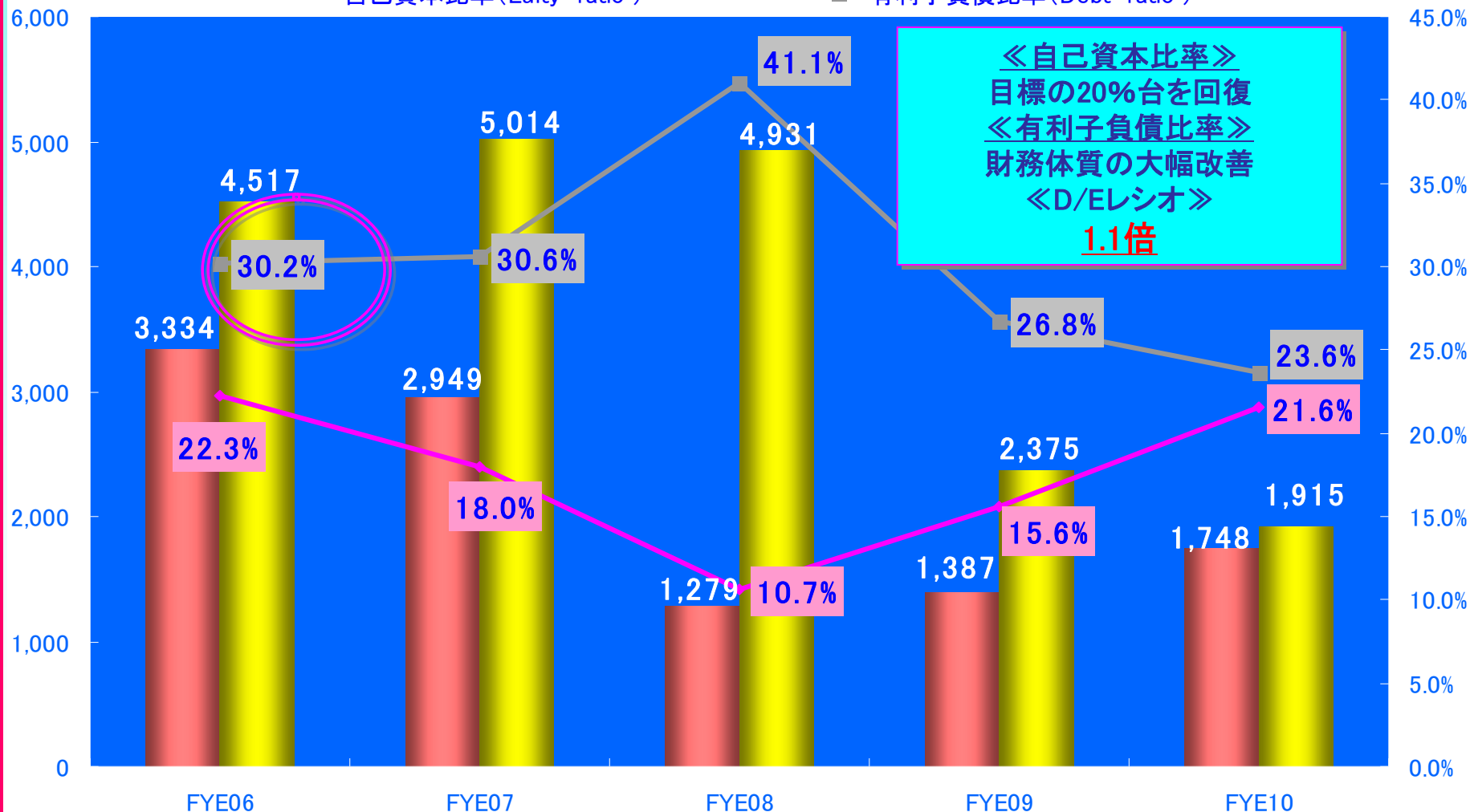


主要経営指標の推移(2006年~2010年)

純資産・自己資本比率・有利子負債比率

(単位: 百万円)

■ 純資産 (Net Assets) ■ 有利子負債 (Loan borrowings)
◆ 自己資本比率 (Equity ratio) ■ 有利子負債比率 (Debt ratio)



主要経営指標の推移(2006年～2010年)

現預金推移表 & 現預金回転日数

(単位: 百万円)
(単位: 日)



貸借対照表

指 標	2009年12月期	(単位:百万円)	
		2010年12月期	増 減
有利子負債	2,374	1,914	△46.0
D/Eレシオ (倍)	1.71	1.10	△0.61
有利子負債依存比率 (%)	26.7	23.6	△3.10
流動資産	7,719	6,982	△737.0
固定資産・投資等	1,157	1,128	△29.0
資産合計	8,877	8,111	△766.0
流動負債	6,247	5,537	△710.0
固定負債	1,241	825	△416.0
負債合計	7,488	6,362	△1,126.0
純資産合計	1,387	1,748	361.0
負債純資産合計	8,877	8,111	△766.0

【増減要因】

- 有利子負債 : 長短期の借入金の減少 (△4億3千万円)
- 流動資産 : 受取手形及び売掛金の減少 (△4億85百万円)。未収入金の減少 (△3億53百万円)
- 固定負債 : 長期借入金の減少 (△4億3千万円)
- 総資産 : 流動資産(受手、売掛、未収)の減少 (△7億37百万円)

2011年12月期予想

(単位:百万円)		2009		2010		2011		2010 VS 2011
		実績	構成比	実績	構成比	予想	構成比	
累計	売上高	18,710		22,177		22,441		
	売上総利益	1,782	9.5%	2,224	10.0%	2,259	10.1%	1.6%
	営業利益	81	0.4%	521	2.3%	566	2.5%	8.6%
	税引き前 当期純利益	109	0.6%	509	2.3%	524	2.3%	2.9%
	当期純利益	129	0.7%	466	2.1%	452	2.0%	△3.0%

中期経営計画の進捗状況 (2010-12年)

Growth with Quality

- 経営数値目標
- 重点アクション項目
- 2011年度方針

◆ 経営数値目標

- 重点アクション項目
- 2011年度方針

経営数値目標

2010年

2012年

2013年

2010年12月期
第2四半期決算説明会
(2010年8月27日)

29.7%

ROE > 20%

7.67%

販管費率 < 5%

ROE:
目標達成
販管費:
営業効率の向上
により継続して
目標達成を図る。

経常利益率および
自己資本比率を
2013年までの目標
として追加。

2.23%

経常利益率 > 3%

21.6%

自己資本比率 > 30%

- ・ 経営数値目標

◆ 重点アクション項目

- ・ 2011年度方針

重点アクション項目

- (1) 商品ラインナップの拡充
 - ◆ アナログIC
 - ◆ 静電容量タッチパネル

- (2) LED関連市場での業容拡大
 - ◆ LED照明
 - ◆ TV用バックライト
 - ◆ 自社開発LED

- (3) 経営効率化の推進
 - ◆ 国内拠点の再編
 - ◆ 海外拠点網の再編

(1) 商品ラインナップの拡充

◆ アナログIC

- Diodes Inc (Lite-Onグループ) 製のアナログICの取扱いを開始
- 顧客のカスタム設計ニーズに対応しプロダクトマネージャー、FAEを増員
- 既存顧客向けのプロジェクトを多数を展開中

LITEON

DIODES
INCORPORATED®



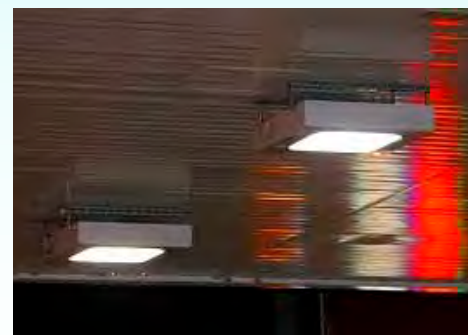
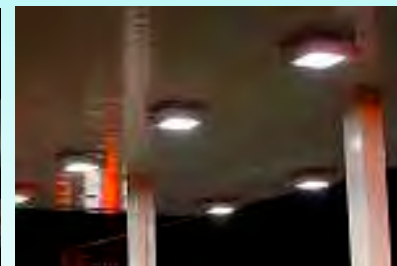
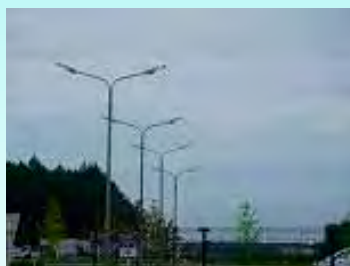
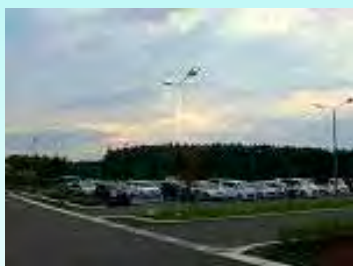
◆ 静電容量タッチパネル

- Lite-On Young Fast (Lite-Onグループ) が開発、量産する静電容量タッチパネルおよび関連部材のマーケティング活動を開始

(2) LED関連市場での業容拡大

◆ LED照明

- 国内ブランドメーカー向けOEM/ODM商談を展開中
- 駐車場、ガソリンスタンド、ゲームセンターへの設置件数が伸張



(2) LED関連市場での業容拡大

◆ 自社開発LED

- 食肉用冷蔵ショーケース向けカスタム白色LEDの開発と出荷開始
- 遊技機向けフルカラーLED大型プロジェクトの納入開始



フルカラーLED
(NLシリーズ)



Red発光



Green発光



Blue発光



◆ 液晶TV用LEDバックライト

- 国内ブランドメーカー数社向けプロジェクトを展開中
- モジュール or 白色LED単体など様々な納入形態に柔軟に対応

(3) 経営効率化の推進

◆ 国内拠点の再編

- 九州営業所の直方事務所への移転
 - 九州エリアのオペレーション管理の一元化完了
 - 直方事務所へ本社を含む国内外全拠点のサーバーを集約

◆ 海外拠点の再編

- シンガポール現法業務をタイ現法へ集約
 - 東南アジアエリアにおけるオペレーションコストの削減
 - シンガポール現法の機能が新規顧客開拓、既存顧客フォローへ特化したことにより、顧客訪問件数が増え営業効率が向上
- タイロジスティックセンターの設立
 - 現在ワーク中
- 東莞事務所の設置
 - 中国華南地区での顧客サポート及び優良ローカルサプライヤーのソーシング活動を展開中

- ・ 経営数値目標
- ・ 重点アクション項目

◆ 2011年度方針

2011年度方針 (1)

◆ 注力事業

➤ コンポーネント事業

- オプト製品 (LED、光複合半導体 (フォトカプラー)、カメラモジュール)
- ダイオード、アナログIC

(なぜ?)

当社が属する台湾のライトングループの強みは世界市場でトップクラスのシェアと競争力を維持、拡大しているオプトデバイスを中心としたコンポーネント事業であります。

当社も創業期からLEDを始めとしたオプトコンポーネント、PC用スイッチング電源などの輸入販売を展開し、25年にわたり様々なお客様にご採用、ご支持を賜って参りました。

昨今のLED関連市場、パワーマネジメント市場の拡大に際して、当社は本セグメントをコア事業として改めて再定義し、ライトングループが世界市場で高く評価されている製品開発力、グローバルな生産体制に加え、商社でありながらメーカー直結の顧客サポート体制を提供できる当社の国内拠点網を武器に日本市場の更なる深耕を進めて参ります。

2012年には、同事業の売上高構成比率を、2009年比で7ポイントアップの85%まで高め安定した収益力の構築を図ります。

2011年度方針 (2)

◆ 注力市場

- エコロジー(LED関連)市場
 - LED照明、TV用LEDバックライトなど拡大市場での立ち位置を明確にする

- 電源市場
 - Diodes Inc(Lite-Onグループ)製品の展開による電源向け商品ラインナップの拡充と、技術サポート部隊の強化による案件の具現化

- OA市場
 - 設計段階からの製品開発力を強化、業界トップ企業への集中展開

- 家電市場
 - 既存顧客向け浸透率の向上と、採用率の低いアプリケーション向け新規案件の獲得活動を推進

2011年度方針 (3)

◆ 業務体制

➤ 組織再編

- 営業組織をフラット化し、情報伝達および意思決定の迅速化を図る
- 新組織における権限の委譲と責任所在を明確化にする

➤ 業務支援システムの統合

- 国内外拠点の業務支援システムを統合し経営効率の向上を図る

Q & A
(質疑応答)

ご清聴ありがとうございました。
Thank you for your attendance.



URL: <http://www.lite-on.co.jp/>

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル

問合せ先: 社長室

TEL: 03-3258-6501 FAX: 03-3258-6515

〔免責事項〕

本資料は、決算の業績及び事業に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容における将来の業績予想に関する情報は、本資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されており、その予想の達成や計画の実現を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。